単位 1 原修 選択 開講年次 2 開講時期 前期	授業科目				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50光達達胜とめてい	
国当政共	 単位	1 履修 選択	開講年次	2	 開講時期	前期	
表現する力などをはぐくみ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うという重要な役割を担っている。保育者は、その遊びの重要性を理解し、乳幼児期の発達を見通し、子どもの興味や関心、行動の理解と予想に基づき、発達を促す遊び(活動)を計画することが必要である。本講義では、実際に乳幼児の遊びを体験し、子どもが遊びの中で何を学び、何を身につけているのか、保育者として遊びをどのように援助したらよいのか等を考え、発達に応じた遊びの展開について理解を深め、実践力が身につくようにする。 「授業形態」 「大学生が達成すべき行動目標・乳幼児理解の意義を理解している。・乳幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。・乳幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。・親幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。・親幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。・親幼児の恵素を理解している。・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。・発達の即例を捉える意義や方法を理解している。・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。・発達に即した遊びのレバートリーを増やし、保育現場で活用できる。・発達に即した遊びのレバートリーを増やし、保育現場で活用できる。・発達に即した遊びのレバートリーを増やし、保育現場で活用できる。・発達に即した遊びのレバートリーを増やし、保育現場で活用できる。 かぶり児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 遊びを展開するときの子ともの音楽を知ります。 はままままできる。 カリキュラムマップ (該当DP)・ナンパリング 日20月で音目女 (第周)	· · · · · ·				10.0213 3702	135773	
学生が達成すべき行動目標 ・乳幼児理解の意義を理解している。 ・乳幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。 ・乳幼児理解を深めるための保育者の基礎的な態度を理解している。 ・観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 ・個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。 ・乳幼児のつまずきを同りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 リ、子ども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 ・解析方法・評価割合 評価割合(数値) 備考 ・アンストレボート レポート ・現本は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	授業概要	表現する力などをはぐくみ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うという重要な役割を担っている。保育者は、その遊びの重要性を理解し、乳幼児期の発達を見通し、子どもの興味や関心、行動の理解と予想に基づき、発達を促す遊び(活動)を計画することが必要である。本講義では、実際に乳幼児の遊びを体験し、子どもが遊びの中で何を学び、何を身につけているのか、保育者として遊びをどのように援助したらよいのか等を考え、発達に応じた遊びの展開について理解を深め、実践力が身につくようにす					
 ・乳幼児理解の意義を理解している。 ・乳幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。 ・乳幼児理解を深めるための保育者の基礎的な態度を理解している。 ・観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 ・個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。 ・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 子ども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 理想的レベル	授業形態	演習			導案の作成を行いま		
- 乳幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。 - 乳幼児理解を深めるための保育者の基礎的な態度を理解している。 - 親婦と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 - 個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。 - 乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 - 保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。 - 子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 - 発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 - 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 - 子ども関わることができる。 - 子ども関わることができる。 - 子ども関わることができる。 - 子ども関わることができる。 - 子ども関わることができる。 - 子ども無関で個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 - 詳価割合 - 評価方法 - 評価割合 - 評価方法 - 評価割合 - 評価方法 - 評価割合 - 評価方法 - 評価割合 (数値)	学生が達成すべき行動目標						
・乳幼児理解を深めるための保育者の基礎的な態度を理解している。 ・観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 ・個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。 ・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 ・保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 レベル 展開するときの子どもの育動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 評価方法 評価割合(数値) 備考 試験 小テスト ボート レボート外の提出物 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなどその他 その他 30% 授業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング 0 DP4 - DP5 〇 学習課題(予習・復習) (時間)							
・観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 ・個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。 ・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 ・保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 「神田方法・評価割合」 備考 は験 ハテスト レポート ・ 大・アスト ・ ボート・外の提出物 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなどをの他 30% 授業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ (該当 DP)・ナンバリング 「DP1 - DP2 ○ DP3 ○ DP4 - DP5 ○ プランバリング (H21335」 学習課題(予習・復習) 「回の学習目安 (時間)							
・個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。 ・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 ・保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 理想的 レベル アども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 評価方法・評価割合 評価方法 評価割合(数値) 備考 試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・観察と記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。					
 標準的 ・乳幼児のつまずきを周りの乳幼児との関係やその他の背景から理解することができる。 ・保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 理想的 子ども関わることができる。 子ども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。遊びを展開することができる。 理想的 子ども関わることができる。 事価方法・評価割合 評価方法 評価割合(数値) 備考 試験 小テスト レボート 発表(口頭、ブレゼンテーション) レボート外の提出物 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなどその他 30% 授業時の態度、参加状況カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O							
レベル ・保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。 ・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 上、子どもと関わることができる。 理想的 上水ル 展開するときの子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。 評価方法・評価割合 評価方法 評価割合(数値) 場場 小テスト レポート 人・アスト レポート クの機 おり 大学報告の機度、参加状況 カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング DP1 - DP2 O DP3 クロタ - DP5 ○ プンパリン グ (時間) 1回の学習目安 (時間)							
・子どもの遊びや活動の展開を予想し、保育者の援助について理解できる。 ・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 平型制の 大きも、関わることができる。 アども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 評価方法 評価方法 評価割合(数値) 備考 試験 小テスト レポート サポート クポート サスト・遊びのまとめなどをあなどをある。 その他 30% 投業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング DP1 - DP2 DP3 DP4 - DP5 プリナンバリングを設定していていています。 学習課題(予習・復習) 1 回の学習目を(時間)	標準的	 ・乳幼児のつまずきを周	りの乳幼児との関係	系やその他の背景か	いら理解することがで	きる。	
・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 子ども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 評価方法 評価割合 評価方法 評価割合 試験	レベル	 ・保護者の心情と基礎的	な対応の方法を理解	躍している。			
・発達に即した遊びのレパートリーを増やし、保育現場で活用できる。 乳幼児期の子どもの発達の特性を知り、あそびの計画を立てることができる。応答的環境について理解し、子どもと関わることができる。 子ども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 評価方法 評価割合 評価方法 評価割合 (数値) 備考 試験 ハテスト レポート レポート外の提出物 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなどをの他 30% 授業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O グ (H21335J) グ (日21335J) 学習課題 (予習・復習)		 ・子どもの遊びや活動の	展開を予想し、保育	る 音者の援助について	理解できる。		
世想的 レベル							
世想的 レベル							
理想的 レベル 子ども集団や個々の子どもの特性に配慮しながら遊びの援助方法について考えることができる。遊びを展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 評価方法 評価方法・評価割合 評価方法 評価方法・評価割合 (数値) 備考 対表 (口頭、プレゼンテーション) レポート外の提出物 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなどをの他 をの他 30% 授業時の態度、参加状況 DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O ナンバリング グ CH21335J 学習課題 (予習・復習) 学習課題 (予習・復習) 1回の学習目安 (時間)							
レベル 展開するときの子どもの言動のもとにある思いに気づき、柔軟な対応を考えることができる。 評価方法 評価方法 評価割合 (数値) 備考 試験 小テスト レポート レポート 発表 (口頭、プレゼンテーション) 上レポート外の提出物 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなどをの他 アの他 30% 授業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ (該当 DP)・ナンバリング 中央の影響・大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないより、大きないましています。							
評価方法 評価割合 (数値) 備考 試験 小テスト レポート	理想的		 もの特性に配慮した	 ぶがら遊びの援助フ	 5法について考えるこ	 ことができる。遊びを	
評価方法 評価割合(数値) 備考 試験	レベル						
試験							
小テスト レポート 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなど 授業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング アリア ロア	 評価方法		評価割合(数値)				
レポート 発表 (口頭、プレゼンテーション) 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなど その他 30% 授業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ (該当 DP)・ナンバリング DP1 - DP2 O アンバリン ダ CH21335J 学習課題 (予習・復習) 1回の学習目安 (時間)	試験						
発表 (口頭、プレゼンテーション) 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなど 授業時の態度、参加状況 カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O プ CH21335J 学習課題 (予習・復習) (時間)	小テスト						
レポート外の提出物 70% 指導案、授業ノート、遊びのまとめなど その他 30% 授業時の態度、参加状況 DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O サンバリング グ CH21335J ウ 学習課題(予習・復習) 中の学習目安 (時間)	レポート						
その他 30% 授業時の態度、参加状況 DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O † ンバリン グ CH21335J 学習課題 (予習・復習) (時間)	発表(口頭	 頭、プレゼンテーション)					
DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O プ CH21335J 学習課題 (予習・復習) (時間)			70%		指導案、授業ノート、遊びのまとめなど		
DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O サンバリン グ CH21335J 学習課題(予習・復習) (時間)		 その他	30%		授業時の態度、参加状況		
DP1 - DP2 O DP3 O DP4 - DP5 O CH21335J 学習課題(予習・復習) (時間)			リキュラムマップ	(該当 DP) <u>・ナン/</u>	バリング <u></u>		
学習課題(予習・復習) (時間)	DP1	- DP2 O	DP3 O	DP4 -	DP5 O	CH21335J	
研我の下3日について及日する。	講義の内容	講義の内容について復習する。 1					

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
オリエンテーション(村上・阿南)					
第1回	授業の概要(目的・内容・評価方法等)及び子ども理解の意義について知る。				
	0~1歳児の保育と遊び(村上・阿南)				
第2回	0~1歳元の株育と近0 (村工・阿角) 0~1歳の発達				
	2歳児の保育と遊び(村上・阿南)				
第3回	2 歳児の発達の様子を知り、保育への展開のあり方を考える。				
第4回	3歳児の保育と遊び(村上・阿南)				
	3歳児の発達の様子を知り、保育への展開のあり方を考える。				
	4~5歳児の保育と遊び(村上・阿南)				
第5回	4~5歳児の発達の様子を知り、保育への展開のあり方を考える。				
	子どもの遊びと保育実践①(阿南・村上)				
第6回	子ども同士の関わりと保育者の援助について理解する。				
ж о <u>Б</u>	乳幼児の遊びを実践するための援助方法、留意点について振り返りを行う。				
第7回	リズム遊び(村上・阿南)				
	乳幼児期におけるリズム遊びの体験を通して発達に応じた援助方法について理解する。				
	ルールのある遊び(村上・阿南)				
第8回					
	子どもの遊びと保育実践②(阿南・村上)				
	乳幼児のリズム遊び、ルールのある遊びを実践するための援助方法について例示する。				
第9回	リズム遊びやルールのある遊びを中心とした子ども同士の関わりと保育者の援助について理解す				
	న 。				
775 10 F	身近な素材を使った遊び(村上・阿南)				
第 10 回	身近な素材を使った遊びを体験し、発達に応じた援助方法について理解する。				
	子どもの遊びと保育実践③(阿南・村上)				
第11回	身近な素材を使った遊びを実践するための援助方法について例示する。				
	身近な素材を使った遊びを中心とした子ども同士の関わりと保育者の援助について理解する。				
第 12 回	集団遊び(村上・阿南)				
	集団遊びの体験を通して、発達に応じた援助方法について理解する。				
第 13 回	まねっこ遊び・お話創り(村上・阿南)				
	体験を通して発達に応じた援助方法について理解する。				
	子どもの遊びと保育実践④(阿南・村上)				
第 14 回	集団遊び・まねっこ遊びを実践するための援助方法について例示する。				
	集団遊び、まねっこ遊びを中心とした子ども同士の関わりと保育者の援助について理解する。				
第 15 回	まとめとふりかえり(阿南)				
	前期に学んだ実践と理論を振り返る。				
テキスト	特に使用しない。				
参考図	必要に応じて資料を配布します。				
書・教材	実習の日誌と指導案サポートブック(大元千種監修、ナツメ社)				
/データ	遊びの指導 乳・幼児編(同文書院)				
ベース・	乳児期の発達と生活・あそび(長瀬美子、ちいさいなかま社)				

子どもの発達理解とあそび

	3 - 0 - 7 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -
雑誌等の	幼児期の発達と生活・あそび(長瀬美子、ちいさいなかま社)
紹介	
課題に対	課題は添削の上、授業内で解説する。
するフィ	
ードバッ	
クの方法	
学生への	1年次に学習した内容や教育実習・保育実習などの実践について自主的に総括してください。
メッセー	遊びの体験で実際に体を動かすことはできませんが、いろいろな遊びのアイデアを出し合ってみま
ジ・コメ	しょう。
ント	それを基にして、実践に活かせるように遊びの意味や展開の工夫等を伝えていきたいと思います。